

## 第3回 矢板市新庁舎整備検討委員会 会議録

### 【先進地視察・真岡市】

会議名	第3回 矢板市新庁舎整備検討委員会【先進地視察・真岡市】
開催日時	令和6年1月30日（火）午前10時56分～午後0時00分
開催場所	真岡市役所
出席者	<p>【真岡市総務部財政課】 高松課長、大橋係長 小島主査</p> <p>【委員】 小林 冬記、渡邊 浩正、中嶋 加代子、村上 和雄、石崎 五百子</p> <p>【事務局】 矢板市総務課管財担当</p>
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新庁舎の概要について</li> <li>2 新庁舎の整備について</li> <li>3 新庁舎の特徴について</li> <li>4 庁舎内の見学について</li> </ol>
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 真岡市あいさつ 真岡市総務部財政課 高松様</li> <li>3 議事 (1) 新庁舎の概要について、(2)新庁舎の整備について、(3)新庁舎の特徴について  真岡市小島主査より別添資料に基づいての説明  【質疑応答】 委員：庁舎の1階の床高さを1m嵩上げしたとの説明があったが、浸水対策は十分か。また、今まで（庁舎の横を流れている）五行川が氾濫したことはあるか。 真岡市：浸水対策は、100年に1度の（大雨の）想定であれば、嵩上げ1mでも十分対応できるように設計されているが、1000年に1度（の大雨）だと5m浸水する想定であるため、1階部分はほぼ水没してしまうことになる。ただし、5mの浸水をしてしまったとしても、1階と2階の電気系統を分けられるように設計しているため、2階以上、特に3階の災害対策本部は非常用</li> </ol>

発電機で電気を使えるようになっている。五行川の氾濫については、30 年以上前に一度氾濫したが、それ以降は一度も氾濫していない。その後、河川や土手の整備も進んでいるため、現在は河川として安定していると考えている。

委員：開庁後、会議室や職員の休憩スペースがもっと必要であるなどの声が上がったことはないか。

真岡市：会議室や休憩スペースは少し足りないという意見が職員から出たことがある。ただし、その分 1 階の窓口や待合スペースを広くとっており、それが市民の利便性向上につながっている点はよかったと考えている。

委員：災害発生時、庁舎を避難所として利用するのか。また、食料等の備蓄はしているか。

真岡市：庁舎は、緊急の一時避難場場所としての利用は考えられるが、避難所として指定はしていないため、市民分の備蓄はしていない。トイレは緊急時も使用可能な仕様になっている。

#### (4) 庁舎内の見学について

大橋係長及び小島主査の案内により庁舎の見学（別添写真参照）

#### 5 その他

特になし。

#### 6 閉会